

# 契 約 変 更 理 由 書

神戸市

工 事 名	垂水処理場本場 2 系最初沈殿池他防食被覆改修工事（その 1）
<p>契約変更後の工事概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート構造物補修工（本場 2 系最初沈殿池流入水路） 一式</li> <li>・コンクリート構造物補修工（本場最初沈殿池 2－3 池） 一式</li> <li>・注入止水工 一式</li> <li>・仮設工 一式</li> </ul>	
<p>契約変更の理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コア採取による中性化深さ確認の結果、劣化部除去工、断面修復工の施工厚さに変更が生じる。（流入水路：当初 天井・壁・床：5mm              変更 天井：5mm 壁：7mm 床：5mm              最初沈殿池：当初 天井・壁：5mm              変更 2-3-1 池 天井：6mm 壁：6mm              2-3-2 池 天井：5mm 壁：8mm）</li> <li>2. 流入水路内の既設コンクリートの凹凸や、配管状況により、シートライニング工法 D 種での施工が困難なことから、塗布型ライニング工法 D 種への変更が生じる。</li> <li>3. 流入水路 EXP・J 部の施工方法について、地震時の継手部ズレへの追従性、止水性の確保、施工の容易性、経済性を考慮した結果、可とう継手設置工を減工し、注入止水工を増工する。</li> <li>4. 最初沈殿池の仮設工について、既存の開口寸法が狭隘であり、枠組み足場の搬入が不可能であったため、足場工を枠組み足場からくさび式足場に変更する。</li> <li>5. 当初設計にはない、最初沈殿池内の水路の水替え及び配管の止水のため、仮設工に水替えポンプ、止水プラグ工が必要である。</li> <li>6. その他、現地精査の結果、各工種の数量に増減が生じる。</li> </ol>	

（公表様式第 6 号）